

基本情報	氏名		性別		生年月日	
	診療科		病名			
	入院年月日		退院年月日			
	住所					
	連絡先					
	自宅		携帯電話			
	緊急連絡先		続柄			
	同居人		続柄			
	キーパーソン	主介護者		続柄		
		主介護者の健康状況及び理解度				
		治療などの決定権		続柄		
	IC	金銭管理		続柄		
		告知状況や病状説明				
	経済状況	本人・家族の理解度・反応				
	在宅復帰の基準	どの程度のサービスが受けられるか、受けたいか				
	DNRIについての意思確認	どのような状態になれば在宅復帰できるのか患者・家族の思い				
	住宅状況	本人あるいは誰が行うのか確認しておく				
	アレルギー	階段・EVの有無・段差など				
	感染症	薬剤( ) 食物( ) 造影剤( ) その他( )				
	既往歴	有( ) 無				
福祉制度	介護保険認定		介護度		現在申請中	
	障害手帳		等級		現在申請中	
	その他					

連絡先は自宅・携帯緊急連絡先 続柄を複数確認する必要があります。場合によっては、内容によって連絡先が違う場合もあります(例)金銭面はA氏に病状はB氏に、物品についてはCにというように・・・キーパーソンとなる方々の連絡先・連絡内容を確認しておきましょう

この情報は、本人・家族からはもちろん、ケアマネージャー、MSWの方が情報をもっている場合があります。情報を共有していきましょう。

同じことを重複して確認することを避けるためにも、確認した情報の交換は大

医療処置	水分制限	有( )				
	内服薬	自立	服薬確認などの介助内容			
	吸入	(薬剤・単位・回数時間・など) 管理方法				
	シップ	(薬剤・枚数・部位・時間など) 管理方法				
	点眼	(薬剤・単位・回数時間・右眼・左眼など) 管理方法				
	褥瘡	有(部位 )	レベルと処置内容( )			
	創傷	有(部位 )	状態と処置内容( )			
	酸素	業者		カヌラ( )L		
		使用時間		マスク( )L		
				BIPAP		
	気管切開	カニューレ種類・サイズ・消毒方法・最終交換日など				
	吸引	口腔 鼻腔 気管切開	回数		状況	
	SPO2	装着状況				
	血糖測定	時間・回数など				
	インスリン	種類・単位・時間・部位など				
	ポート	薬剤・単位・時間・部位など				
	輸液ポンプ	業者・薬剤・単位・時間・部位など				
	経管栄養	種類・サイズ・挿入の長さ・下痢便秘への対応・注入速度・最終交換日・誰が実施するか				
	人工呼吸器	業者・機種・設定条件など				
	入院後あるいは在宅で継続的に必要な医療処置					

急性期病院から在宅・療養型の病院に転院になる場合、医療処置があると、機材・薬剤などの準備が必要な場合があります。時間を要する者もあるので早めに情報を提供していくことも必要です

医療処置に使用する材料もメーカーなどの記載や、特殊なものは購入ルートの記載もあると、準備などがスムーズに

コミュニケーション	認知レベル	意思疎通		対応方法	
		行動		対応方法	
		徘徊あり		対応方法	
	意識レベル	JCSまたはGCS			
	見当識障害	状況( )			
	聴覚障害	状況( )			
	視覚障害	状況( )			
	言語障害	状況( )			

日常生活行動および援助	睡眠		眠剤使用		
	清潔	自立			
		清拭	介助内容		
		シャワー浴	介助内容		
	更衣	自立		介助内容	
	排泄	自立			
		誘導	介助内容		
		リハビリパンツ	介助内容		
		オムツ	介助内容		
		導尿	自立	最終導尿	介助内容
		人工肛門造設	自立	介助内容	
		最終排便			
	起き上がり	自立			
		行動	介助内容		
	座位	自立			
		行動	介助内容		
	移動	自立			
		補助具	介助内容		
		全介助	介助内容		
	食事	経口・食種( )	介助内容		
注入内容		食品・回数・速度など			
転倒・転落の既往	骨折など状況	対策方法			
その他					
看護経過					
	施設(病院)名		病棟名		
	初回記載日		記載者氏名	責任者氏名	

日常生活援助については全介助・一部介助と記載していた施設が多いが、実際詳細な内容を記載しないと継続できないため、具体的に介助内容を記載していきましょう。